

## 景観まちづくり学習の取組事例

静岡県 御殿場市立原里小学校	実施学年： 6年 児童数： 93人（3学級） 実施教科等： 総合的な学習の時間・国語 実施時間数： 34時間
実施／参照プログラム	No.10 校歌の風景を見つめてみよう



### ●学習のねらい・学習活動・準備品・実施場所








学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 校歌に描かれている情景を知ることを通して、地域のよい景観を発見し、地域への愛着心を育て、まちの環境を大切にしようとする態度を育む。</li> <li>● 校歌に描かれている情景の場所を調べ、地域の特色を考える。</li> <li>● 自分の考えをまとめ、自分なりの表現方法で、友達や身近な人に伝える方法を学ぶ。</li> <li>● 世界に誇る景観について学習し、後世に伝える意欲や態度を身に付けることができる。</li> </ul>
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 御殿場市の景観計画や富士山の歴史や現状について専門家から話を聞き、「景観形成」の視点から、富士山について調べる事柄を考える。</li> <li>● 富士山を散策し、事前に作った課題を目で確かめたり、新たな課題を設定したりする。</li> <li>● 今までの学習を生かして課題を設定し、課題が近い者同士で作ったグループで、景観学習のまとめを行う。（パネルディスカッションの準備）</li> <li>● 自分達ができることについてパネルディスカッションで提案する（学習発表会）。発表会の後、1年間の学習活動を振り返る。</li> </ul>
準備品	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルカメラ</li> <li>● コンピュータ、プリンタ</li> <li>● 富士山学習のしおり</li> <li>● 登山の服装（軽装備）</li> <li>● 御殿場市景観計画、市観光資料等</li> <li>● 調べたことを記入するワークシート</li> <li>● 調べたことをまとめる画用紙、模造紙、パネル</li> <li>● 筆記用具</li> <li>● 体験をまとめるワークシート</li> <li>● 画鋏、養生テープ</li> <li>● 放送器具</li> </ul>
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教室、多目的ホール、パソコン室、体育館</li> <li>● 原里地区</li> <li>● 富士山</li> </ul>

●学習の流れ

	場所	概要	活動記録	児童の反応
3 時 間	多目的 ホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 趣旨説明</li> <li>● 市都市計画課の職員から、御殿場市の景観計画について話を聞く。</li> <li>● 富士山ガイドの米山千晴さんから、富士山の歴史や現状について話を聞く。</li> <li>● 富士山世界文化遺産センターの出前講座「富士山の自然と世界文化遺産」を受講する。</li> <li>● 話を聞いて、「景観形成」の視点から、地域の課題を考える。</li> </ul>	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 御殿場市では、建物が道路から少し距離を置いて建てられていることや、場所によっては、建物の高さや配色に気を付けていることを知り、市の景観計画に関心を持った。</li> <li>○ 米山さんから、富士山の成り立ちや今の自然、課題を聞き、より良い環境にするにはどうしたらいいのか、自分達にできることは何か考え、質問を行っていた。</li> <li>○ 富士山世界文化遺産センターの講師から、富士山の自然と世界文化遺産とのつながりについて講義を受け、雄大な自然についての興味を深めていた。</li> </ul>
1 時 間	パソ ン室 図書室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記の3講座を受けて、富士山で見たいことを富士山学習の自身のめあてとし、見たいことを中心に調べ学習を行った。</li> </ul>	◇実行委員を中心に作成したしおりを活用して、興味・関心のある事柄を、調べる活動を行った。	○ 富士山特有の土壌や動植物を調べることで、実際に足を運んで目にするこへの興味・関心を高めていた。
5 時 間	富士山 須走口 付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 富士山ガイド「やまぼうし」の案内で、富士山須走口五合目付近を散策する。富士山の雄大な自然に触れながら、そこにしか咲かない植物や厳しい環境の中にあってもたくましく息づく動植物を観察する。</li> </ul>		○ 初めて富士山へ足を踏み入れる児童も多く、事前に調べたそこにしかない植物や他では見られない地形を目にして喜びの声をあげていた。また、急に立ち込めてきた霧が前方の視界を塞ぐことに驚いていた。

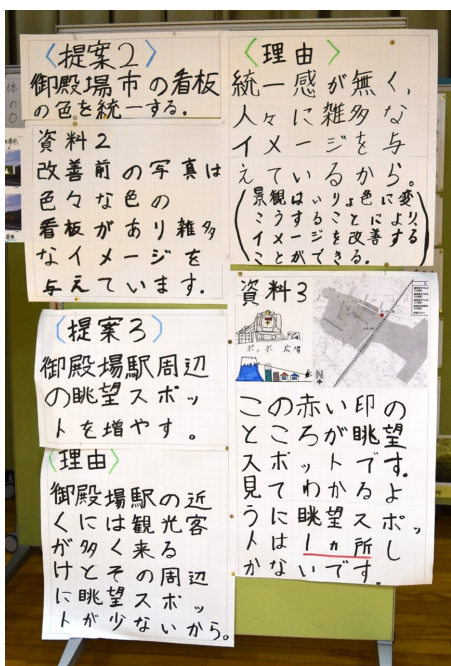
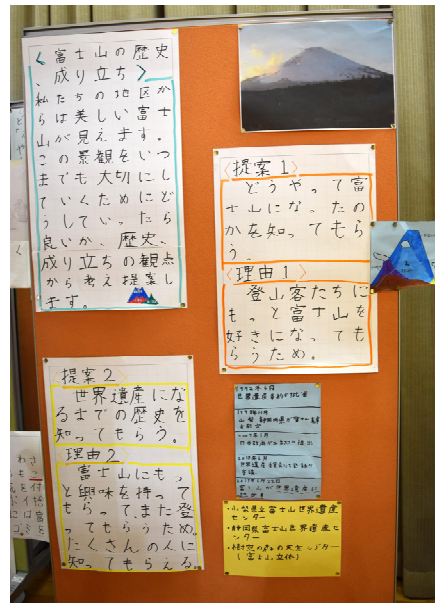
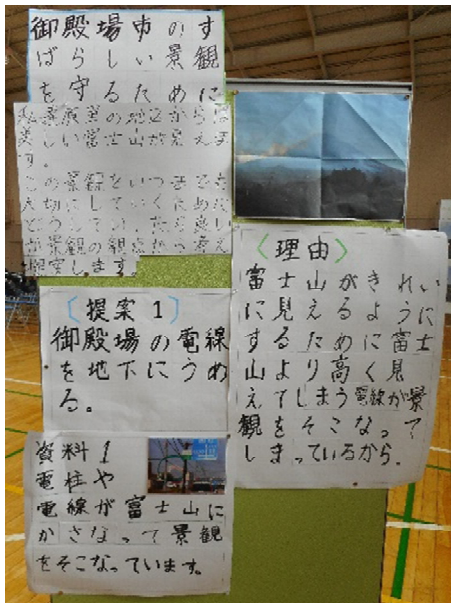
	場所	概要	活動記録	児童の反応
5 時 間	富士山 御殿場 口付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東山荘のガイドの案内で、御殿場口新5合目付近を散策した後、双子山登頂を目指す。富士山の地形を利用した体験活動や富士山固有の自然環境の楽しみ方をガイドより学ぶ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東山荘のガイドから教わった歩き方や呼吸法、登山のマナーを実践して登ることで、疲労を最小限に抑えて行程を進むことができ、喜んでいました。</li> <li>○ 須走口とは違う景色、天候を目にすることで、富士山の多様性や変わりやすい山の天気を体験したことを振り返っていた。</li> </ul>
1 時 間	多目的 ホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テーマ「富士山のある風景」「校歌のある風景」を確認する。</li> <li>● 通学路、自宅周辺での富士山の見える景観の良い場所について、家が近い子たちで編成した班で情報交換を行い、良い写真が撮れる場所を話し合う。（「富士山の見える我が地域」）</li> </ul>	 <p>◇児童が我が地域の富士山の景観の良い撮影場所を決めたが、安全に配慮し教師が撮影する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分達が決めた撮影場所からの富士山は、思いのほかきれいなので嬉しいと言っている児童が多かった。</li> <li>○ 冬休みなどのまとまった時間の取れるときに、朝起きて富士山を眺める習慣ができた児童もいた。自分の好きな富士山が見える時間帯を発言している姿があった。</li> </ul>
1 時 間	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今までに富士山について調べたことや講座で聞いた話、実際に見てきたことを基に、「富士山のある風景・この景観を守るために、今後、私たちができること」の観点で、各自の学習課題を立てる。</li> <li>● 学習課題が似ている者同士でグループを作り、大きな課題を作る。</li> </ul>	<p>◇今までの学習ファイルを見て、学習の足跡を確認し、活動や体験をつなげて、課題設定を行う。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今までのワークシートを振り返ると、体験活動で感じたことや講座で疑問に感じたことが残っているので、それを基に作った課題を追究していくのが楽しみだと言っていた。</li> <li>○ 御殿場市から見える富士山について調べるグループは、市ではどのような場所からでもきれいな富士山が見えるのか疑問を持っていた。</li> </ul>



	場所	概要	活動記録	児童の反応
8 時 間	教室 パソコン室 図書室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループごとの課題に基づいて、世界自然遺産である「富士山」について、調べ学習を行い、提案資料や発表原稿を作る。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 富士山がしっかりと見える御殿場市の景観</li> <li>② 富士山の自然・動植物</li> <li>③ 環境保全（自然災害）</li> <li>④ 登山客のマナー</li> <li>⑤ 富士山と人々の暮らし（富士山と人々の歴史を含む）</li> <li>⑥ 富士山のボランティア</li> <li>⑦ 富士山の美化活動</li> </ol>	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調べ学習を進めていくと、富士山の環境や御殿場市の景観を守ろうと努力している人がいることに気づいた。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各グループの提案には、富士山の環境を守り、いつまでもこの景観を保持していくためのアイデアが示されていた。</li> </ul>
6 時 間	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「富士山のある風景」について、地域のよさや美しさが伝わるような表現の工夫を考え、景観学習のまとめを行う。（模造紙にまとめ、パネルディスカッションができるようにする。）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料提示の写真やグラフは、環境改善を意識したものを選んでいた。</li> <li>○ 各グループのまとめでは、景観を守るための考えが、グループのテーマごとに表現されていた。</li> </ul>
2 時 間	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 発表の練習やまとめの仕上げをする。（互いに発表を聞き合い、相互評価する。）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分達の景観保持の提案が、参観者に適切に伝わるにはどうしたらよいか相談していた。</li> </ul>
2 時 間	体育館 教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保護者や市役所・地域の方々に参加いただき、発表会を開く。</li> <li>● 学習活動の自己評価をする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ この学習を通して、私達の富士山が見える景観を残していくために、自分達ができることをこれからも考え、行動につなげていきたいと振り返りに記述している子が多かった。</li> </ul>

## ●児童の作品

◎グループごとにパネルに資料をまとめ、写真やグラフを組み合わせて説明の補助とした。



## ●先生の声

### 【実施にあたり工夫した点・苦労した点】

- 今行っている教育活動の中で「景観まちづくり学習」を行い、郷土を見つめる子どもを育成していった。
- 教師が、景観まちづくりの学習について柔軟性のある理解をし、地域の内外にあることを結びつけて学習に生かすようにした。

### 【児童の反応】

- 当たり前にある富士山を含めた市の景観を保つにはどうすれば良いかとの視点が生まれた。
- まちづくりへの関わりを考える契機になった。

### 【教師の変化】

- 子どもたちが景観まちづくりの視点を持って学習に取り組むにはどうすれば良いか、どうしたら日々の生活における実践意欲を高められるのか考えることができた。